



平成28年度前期 連続テレビ小説

とと姉ちゃんの舞台



HAMAMATSU STORY

平成28年度
前期連続テレビ小説
「とと姉ちゃん」の舞台、
浜松をご紹介します!!



「とと姉ちゃんの舞台・浜松」を ご紹介

① 中田島の海岸(浜松市南区)



浜松の南部は、遠州灘に面しています。日本三大砂丘の一つと言われている「中田島砂丘」をはじめ、海岸では心地よい風が吹くことから、凧揚げも盛んです。

② 佐鳴湖公園(浜松市西区)



市中心部からほど近い佐鳴湖は緑も多く、野鳥の観察スポットとして知られています。桜や紅葉の下でピクニックを楽しむこともできる市民の憩いの場で、ジョギングやウォーキングにも最適。

③ プリンス岬(浜松市北区)



皇太子ご一家が、ご遊泳やボートなど、夏を楽しまれたこともある浜名湖の五味半島。お泊りになられた施設もあることから、「プリンス岬」と呼ばれています。

④ 極楽寺(浜松市西区)



浜名湖近くの高台に建つ極楽寺は、臨済宗妙心寺派のお寺です。高さ2.74m、直径1.61m、重量4.3トンの釣鐘があり、「青少年育成に資するための鐘」と呼ばれています。

⑤ 白山鼻(浜松市西区)



「はくさんばな」と呼ばれる浜名湖の岬。この湖畔の道は、未舗装ですが、地元の人にとっては、釣りポイントの一つ。ひっそりした中にも味わいがあり、近くにはスポーツカート場もあります。

⑥ 東海染工(株)(浜松市東区)



機械：ローラー捺染機

柄提供：森菊(株)

1941年創業の繊維素材の染色加工メーカーで、伝統的な染色技術と独自の加工技術を用いて、付加価値の高いプリント製品を作り、国内外に安定した市場を持っています。



ドラマの舞台地



とと姉ちゃんの舞台 浜松MAP

とと姉ちゃんとは

平成28年4月から放送の連続テレビ小説「とと姉ちゃん」は、戦前の織維のまち・浜松で育った主人公、小橋常子が、幼くして父を亡くし、母親や妹たちと昭和を生き抜くドラマ。生前の父が教えてくれた「当たり前暮らしがいかに大切か」という教えを胸に、常子が「とと(父)」の代わりとなり大奮闘する、小さな家族の大きな年代記です。



繊維のまち はままつ

1 繊維のまち浜松HISTORY

温暖な気候で、天竜川など豊かな水源に恵まれた浜松は、江戸時代には日本でも有数の綿花の産地でした。明治時代になると、日本は産業の発展期。浜松では、綿織物や染め物工業が発達しました。やがて、豊田佐吉(後のトヨタ自動車創設者)が力織機を発明し、その後、鈴木道雄(後のスズキ自動車創設者)などの力織機の製作などを機に、繊維産業は、浜松を中心に遠州一帯の一大産業に発展しました。昔から積み重ねられた質の高い技術と伝統的な風合いは、今も受け継がれており、浜松の繊維産業は、楽器製造や輸送機器製造とあわせて、ものづくり産業の一つになっています。



2 浜松の主な繊維産業の紹介

◆ 織り

綿織物を中心に、天然繊維から複合素材まで、織れないものはないといわれるほど多くの品種を生産しています。多くの有名ブランドの服地として使用されるなど、その生産技術は海外でも高く評価されています。

◆ 染め

染めの工程にはいろいろありますがその中で、主に手作業で染めていく「注染染め」と、近代的な機械で染色し、様々な加工をする「染色加工」があります。「注染染め」は職人があみ出した世界にない日本だけの染色技術です。型付け職人が柄を糊置きし、職人が染料を注いで染める二人三脚のたくみの技術です。ゆかたやお祭りのためぐい、観賞用の高級ためぐいの染物として親しまれています。「染色加工」は洋服などの生地に使われ、その技術開発力は国内トップクラスに位置づけられています。

3 浜松で繊維を学ぶ

◆ 浜松市総合産業展示館 北館



産業展示館北館の2Fには、静岡県繊維協会による、浜松の繊維の歴史や昔の織機、組合ごとの製品などの展示があり、産地の繊維情報を知ることができます。

住所／〒435-0007 浜松市東区流通元町20-2

開館時間／9時～21時

定休日／年末年始

問合せ／TEL.053-456-7222(静岡県繊維協会)

※土日祝を除く8時30分～17時30分

◆ 浜松市市民ミュージアム浜北



織物の工程に沿って、織機などの道具類を展示しています。歴史展示物では江戸時代から使われていた糸車や笠井織のサンプルなどが紹介されています。

住所／〒434-0038 浜松市浜北区貴布祿291-1

浜北文化センター内

開館時間／9時～17時

定休日／月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始

問合せ／TEL.053-586-7310